

令和8年 8月 15日

事業所名称…グループホームまごころの家・グループホームまごころの家こしばら

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和8年8月5日（水）14時～

出席者

事業所	4人	利用者	0人
利用者家族	3人	地域代表者	0人
松江市職員	1人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他	0人

松江市…加田様 湘南第一包括…小豆沢様 ご家族…世良様ご夫婦・中村様

令和8年6月～7月のまごころの家、活動内容

ご利用者について

入院…無 入退去…6月1名 老衰の為ご逝去によって退去 7月1名 入居

平均年齢 89歳 平均介護度 4.4 女性8名 男性1名

季節の行事…七夕（歌・素麺・七夕飾り作り・ホットプレート料理）

誕生日会…3名 それぞれの誕生日にご馳走を用意。15時はケーキでお祝い

その他の活動…折り紙（七夕飾り・紫陽花）・壁紙作成（スタンプで紫陽花）

家庭菜園（ミニトマト・スナックエンドウ他）

クッキング（お魚ハンバーグ・焼き肉・チャーハン等）

外出状況…医療受診 ドライブ（かんべの里・八重垣神社など）

その他…7/17 美容散髪希望者（9名）

事故報告…1件（松江市提出済み）車椅子より滑り落ち。整形受診、異常みられず。

身体拘束について…不必要な身体拘束になっていないか、見直しを行った。身体拘束・虐待について委員会を立ち上げ文章を回覧し周知している。虐待も同様。

職員について

自施設研修 6月 食中毒・熱中症・脱水 BCP（自然災害）

7月 事故防止の為のリスクマネジメント 生産性向上推進研修

外部研修…ポジショニング研修 チーム向上研修 OJT の実践を身につける

健康診断（夜勤者6名）

防災訓練…夜間想定（通報訓練・初期消火・避難誘導）夜勤者6名対象に実施

ボランティア状況…ご家族・ご近所の方から、野菜やお花。新聞紙・新聞で折ったゴミ袋・ウエス等たくさん頂いている。

令和8年6月～7月のまごころの家こしばらホーム、活動内容

ご利用者について

入居…無

入院…1名（PTGBD チューブ抜去のため1泊入院）

平均年齢…95歳 平均介護度…2.7 女性9名 男性0名

季節の行事…笹巻（ご利用者と笹を一緒に取りに行き、笹巻を作っているうちに、巻き方を思い出され、茹でて美味しくいただいた。）

壁紙作り（夏の風物詩としてひまわりを折り紙で作って頂き、飾りつけして頂きました。）

毎月の活動…クッキング（笹巻・どら焼き・オムソバ）、パズル、折り紙、塗り絵など

誕生日会…無

その他…老人健診（おむら内科クリニック）美容散髪…7/13

ヒヤリハット…1件 柵・センサー忘れ

身体拘束について…変化があった際は、随時話し合いをおこなっている。センサーなど必要な場合は、ご家族の了解を得て使用 ※毎月、身体拘束委員会を開催し話し合っている。

虐待については、資料を回覧し確認し合っている。次回9月に研修予定

職員について

外部研修…ポジショニング研修

自施設研修…6月 BCP 自然災害（訓練含む） 7月 生産性向上推進研修

防災訓練…BCP 自然災害

避難訓練（消防署より3名来ていただき、消火器の訓練も実施）

健康診断（夜勤者3名）

その他

地域活動…ビューシティ溝掃除・草取りに参加

ボランティア状況…ご家族やボランティアの方より、ウエス用の布や古新聞をいただいた。また、ご家族の方より、季節の野菜をいただいた。

〈意見交換〉

事故報告について理事長より

・大きな事故が発生する前には、必ずヒヤリハットすることがあるはず。職員同士がフランクに話し合えて報告できるように対策必要。入社3週間、3ヵ月、半年、1年目は疲れが出やすい。手順を飛ばすことが無いように、ベテランが修正する。ホーム長、主任が指導しても直らなければ、上にあげるように。

包括支援センターより

・男性のご利用者が入って、また違う雰囲気になられ良かった。

美容散髪について理事長より

・ご利用者の世代は、お盆・正月、近くに美容散髪される方が多い。訪問美容の都合もあるかもしれないが、出来る限り、お盆やお正月前に散髪が出来るように。ご利用者の生活の感覚に合わせて行ってください。

BCP研修について、松江市より

・今回の熊本地震で、トヨタでもBCPが発動されていない。その場の状況で業務を見ながら、発動させるかの判断が必要です。集団指導でBCP教育担当の細田先生より、Pはプランではなく、パワー発想、行動力と話している。計画より発想力やアレンジメント力が、今後は主流となります。

・今回、両ホームとも、業務の洗い出しをしたという事。必要な事です。無駄を省く工夫が必要。無駄がない職場は、離職率が低い。

生産性向上について理事長より

・職員の給料を上げるために必要な加算を取るために、生産性向上のために ICT 化に向けて、I パッドを導入します。電子で記録が可能になるため記録の時間が短縮されるが、職員の為にならないように。業務が短縮できて、時間が出来たら、ご利用者との関りの時間になるように。I パッドでの記録が慣れるまでは、紙ベースでの記録も必要。また、全職員が使えるように。

・BCP についても、古志原地区は、昔からの道が残っている。その事から、地震などの揺れには強いが、火事には弱い。ホームでも、発電機・水・食品の備蓄の準備はしている。年 1 回の日付のチェックは必要。

ご家族からホームへ

・いつも職員にお任せしていますが、この度、U ターンしたので、これからは、ホームへ顔を出します。

・まごころの家、こしばらホームとは、介護の違いがありますが、高くても低くてもそれぞれ大変だと思います。職員さんの体も心配ですので、お腰など痛めませんように。

ホームより

・ご利用者の関係性を考え職員が間に入っています。入居（認知症を発症して）10 年位で入れ替えになります。こしばらホームは介護度が低いですが、数年前は、反対でした。

・職員の腰痛予防に対策として、今回、ポジショニング研修の際に、ご利用者と職員が安楽な対応の仕方を学びました。

マスクについて、理事長より

・マスクについて、必ずしも必要ではありません。職員会議でも、職員のマスクの着用については、自己判断が出来るように伝えました。感染予防が必要な際は、N95 マスクが必要になりますが、他のマスクについては、感染対策にはなりません。

包括支援センターより

・こまめな水分補給で（粘膜を守る事で）も回避に繋がります。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	◎
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	◎